※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）						
副教材等	新入生デザインセット（アクリル絵の具・鉛筆・工作用ボンド等）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を重ね，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。【知識及び技能】

（2）造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。【思考力・判断力・表現力】

（3）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創 意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を 深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、 感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	教科書等を見ながら、「美術Ⅰ」の授業の内容について学ぶ 授業のルール・大切にすべきポイントを学ぶ	適切な態度で説明を聞き、内容を理解することができたか 主(c)			観察 アンケート提出
	十二色相環	１２色相環について学び、ワークシートを完成させる	１２色相環にまつわる色彩についての知識を得ることができたか 知(a) ていねいに絵の具を混色しワークシートを完成させることができたか 知(a)主(c)	ワークシート		観察
	レタリング	レタリングについて学び、ローマ字表記の自分の名前をレタリングする （ローマン体とゴシック体のどちらかを選ぶ）	レタリングについての知識を得ることができたか 知(a) 自分の名前を正しく美しくレタリングすることができたか 知(a)主(c)	ワークシート		観察
2学期	ファイル背表紙デザイン	レタリングの単元で得た知識をもとに、自分のファイルの背表紙をデザインする	自分の名前を正しく美しくレタリングすることができたか 知(a) 背景の部分に工夫を施すことができたか 思(b) 意図をもって色を選び着彩することができたか思(b)主(c)	作品の美しさ・緻密さ	作品の発想・アイデア	観察 感想プリント提出
	デッサン入門	鉛筆デッサンを体験し、観察力と描画力を育む （題材は、紙コップ・手・自画像等から。講座の実態に合わせ設定する）	デッサンに適した形に鉛筆が削れているか 知(a) ものの形や光の向き等に心を配りながら、デッサンすることができたか 知(a)思(b) 集中し最後まで取り組むことができたか 主(c)	作品の美しさ・緻密さ	作品の発想・アイデア	観察 感想プリント提出
3学期	マイマスク～もうひとりの自分～	「もうひとりの自分」をテーマに、心材と紙粘土でお面を制作する	テーマに沿ったアイデアを考えることができたか 思(b) 紙粘土の特性を活かし、立体的な作品になっているか 知(a)思(b) 集中し最後まで取り組むことができたか主(c)	作品の美しさ・緻密さ	作品の発想・アイデア	観察 感想プリント提出
通年	思い出の絵手紙	自身の思い出を、絵と言葉で表す「絵手紙」の形で表現する （長期休業や行事の後に実施する）	見た人がその思い出をイメージすることのできる作品になっているか 知(a)思(b)主(c)	作品の美しさ・緻密さ	作品の発想・アイデア	観察
	映像作品の鑑賞	アニメ等の映像作品を鑑賞し、主に美術的な視点に着目し、感想プリントを書く	映像作品について美術的な視点で鑑賞することができたか 主(c)			観察 感想プリント提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度